

地域食材・料理情報提供システムにおける 簡易な写真アップロード方式の提案

伊藤紘貴[†] 山田敬三[‡] 田中充[‡] 佐々木淳[‡]

[†]岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科 [‡]岩手県立大学ソフトウェア情報学部

1. はじめに

岩手県には、食味特性や機能性に優れた食材が数多く存在する。また、それらを用いた料理も増加している。我々は、それらの認知度を向上させ、岩手県の食の発展や観光客の増進などを目的として、岩手県内の食材・料理情報を掲載した情報提供システム「いわて食マップ」・「ぐるめサーチャー」（以下、これらをまとめて食材・料理情報提供システム）の開発を行ってきた[1]。しかし、システム自体が知名度不足であるため、利用頻度が低いという問題がある。また、地域食材の生産者や調理師（以下、これらをまとめて情報提供者）によって撮影された写真を即座に Web サーバ上へアップロードすることが可能な仕組みがあれば、より効果的であるが、その作業が煩雑または困難であるという問題がある。

そこで本稿では、情報提供者の携帯端末によって撮影された写真が携帯端末を用いて既存の食材・料理情報提供システムの Web サーバ（以下、Web サーバ）にアップロードされ、ユーザがそれらの中から選択して食材・料理情報提供システムおよび多くの写真共有サイトのコンテンツとして同時にアップロードできる仕組みを提案する。

2. 食材・料理情報提供システム

2.1 現状

我々が開発した食材・料理情報提供システムにおける 2 つの Web サイト（以下、Web サイト）について述べる。まず、いわて食マップは、岩手県産物の認知度向上を目的とした Web サイトであり、食材およびその生産者についての情報が記載されている。一部の生産物については、見積・注文が可能である。また、ぐるめサーチャーとは、料理情報を登録・閲覧・検索できる Web サイトであり、料理および調理師についての情報が記載されている。これらの Web サイトは連携しており、ある食材を使用した料理や、料理に使用している食材について検索・閲覧することができる。

しかし、既存の Web サイトは、地域食材・料理の PR を目的として開発したものであるが、利用頻度が芳しくない状況である。これは、Web サイト

自体の知名度不足が原因であると考えられる。また、既存の Web サイトは、PC からのアクセスのみに対応している。携帯端末からもアクセスは可能であるが、通信する際のコストが高いことや、画面表示の体裁が整っていないといった問題があるため、携帯端末によるシステムの本格的な利用には対応していない。

2.2 写真アップロード方式の提案

2.1 節で述べた問題を解決するために、我々は、魅力ある写真を多くの写真共有サイトへ容易にアップロードできる仕組みについて検討を行った。

しかし、撮影した写真を即座にアップロードすることを考慮した場合、撮影機器の可搬性および操作の簡易性が求められる。そのような観点から、PC での利用よりも携帯端末での利用が適していると考えられる。

関連技術として、“Eye-Fi”というものがある[2]。これは、無線 LAN 技術を用いて、写真データを写真共有サイトへ送信できるものだが、PC を利用しないと詳細な設定ができない。また、無線 LAN 接続環境が無い農地などでの利用を想定しているため、システムを実装できても実環境で利用できない場合が多い。

そこで、携帯端末を利用して、Web サーバへ写真のアップロードを行う機能および写真共有サイトへ写真のアップロードを行う機能を既存の食材・料理情報提供システムへ追加することとした。利用する写真共有サイトは、“フォト蔵”[3]や“Flickr”[4]などがあり、利用するサイトが著名であるほど、効果的であると考えられる。システム利用の流れを簡単に表したものを図 1 に示す。

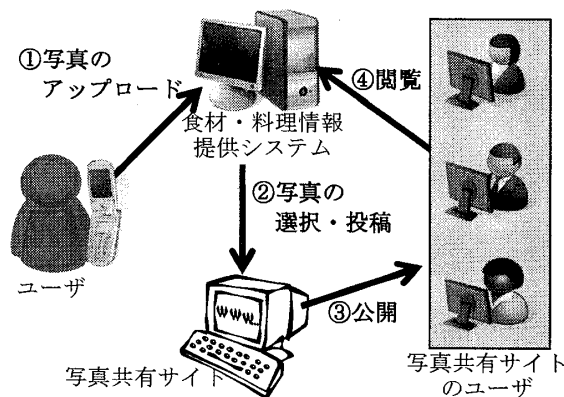


図 1 システム利用の流れ

A Proposal of Simple Photograph Upload Method in Local Ingredient and Cooking Information Delivery System

[†]Hiroki ITO, [‡]Keizo YAMADA, Michiru TANAKA, Jun SASAKI

Graduate School of Software and Information Science, Iwate Prefectural University[†]

Faculty of Software and Information Science, Iwate Prefectural University[‡]

3. システム構成

3.1 既存システムにおける情報登録

我々が開発した食材・料理情報提供システムは、閲覧者向けサービスと管理者向けサービスの2つで構成されている。情報提供者の中には、PCを利用できない人や所有していない人も存在するため、Webサイトに掲載する情報は、ユーザが管理者と連絡をとって、登録するという運用スタイルをとっている。実際に、写真共有サイトへ写真を投稿する作業は、管理者側が行うこととする。

3.2 携帯端末での利用を考慮した写真アップロード機能

我々が開発した食材・料理情報提供システムにおける食材および生産者に関する情報（食材関連情報）や料理および調理師に関する情報（料理関連情報）は、Webサーバ内の食材データベース、料理データベース（以下、これらをまとめて食材・料理DB）にそれぞれ格納されており、これらをWebサイト上に掲載している。しかし、これだけではWebサイト自体が知名度不足であり、岩手県の食材・料理情報の普及には繋がらない。

そこで、携帯端末に保存されている写真データを参照し、Webサーバへアップロードを行い、任意の写真を選択して写真共有サイトへ投稿できる機能を既存の食材・料理情報提供システムに追加する。システム全体の構成を図2に示す。ユーザによってアップロードされた写真は、Webサーバ内の食材・料理DBに登録される。既に登録されている写真については、削除可能にする。また、既存の食材・料理情報提供システムでは、1つの生産物または料理につき、1枚の写真のみ食材・料理DBへの登録が可能であるが、これを複数枚登録できるようにシステムの改良する。

写真投稿の流れとしては、情報提供者が、登録されている写真の中から投稿したい写真および写真共有サイトを選択し、投稿する。さらに、写真共有サイトへ投稿した写真にWebサイトへのリンクを付加することで、投稿された写真を閲覧した後に、アクセスする写真共有サイトのユーザが増える。これによって、Webサイト自体の知名度向上を図ることを目的としている。

3.3 写真共有サイトへの写真アップロード機能

3.2節で述べた機能に加え、アップロード先である写真共有サイトを1つまたは複数を選択する機能を追加する。しかし、写真共有サイトの中には、ユーザ登録制のものがある。情報提供者にとって、ユーザ登録および登録情報の管理などの作業は手間がかかり、煩雑である。

そこで、写真のアップロードのみを目的としたユーザアカウントの発行および情報の管理を行う機能を管理者向けサービスに追加する。これによって、ユーザは登録および情報管理の作業を意識せずに写真を投稿することができる。

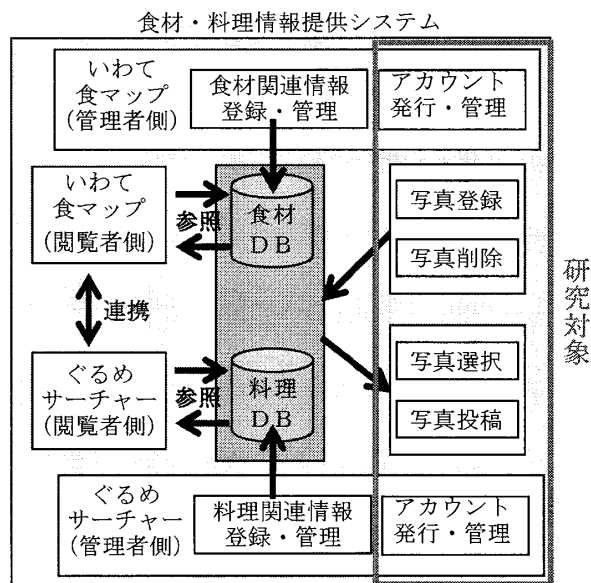


図2 システム構成

4. おわりに

本稿では、我々がこれまで開発をしてきた食材・料理情報提供システムにおけるWebサイトの知名度向上を図るため、携帯端末を利用して写真を簡単に写真共有サイトへ投稿できる機能について提案した。今後は、提案に基づいてシステムを構築し、Webサイトの知名度が向上したか、アップロード方式は簡易であるかなどについて評価する。また、システムの利便性を高めるために、携帯端末だけでなく、デジタルカメラでの利用を考慮したシステム構成や、動画の投稿などについても検討する。そして、将来的にはクリエイティブ・コモンズ[5]によって、ブログやSNSなどでの利活用を促進させることで、より多くの人への岩手県内の食材・料理情報の提供を目指す。

参考文献

- [1] 櫻庭秀司, 佐々木淳, 山田敬三, 田中充, 吉岡美子, 長坂慶子, 松本絵美, 河野紗代, 船生豊: “調理師の視点に基づく地域食材情報提供システムの構築”, 情報処理学会第70回全国大会, 6ZL-2(2008).
- [2] Eye-Fi Japan, <http://www.eyefi.co.jp/>
- [3] 写真共有サイト「フォト蔵」, <http://photozou.jp/>
- [4] Flickr: フリッカー, <http://www.flickr.com/groups/japanese/>
- [5] Creative Commons, <http://creativecommons.org/>